

年度が変わって1か月が経過しました。読者の皆様の中にも春に入社や転勤で新たな地に着任された方がいらっしゃると思います。安全で、快適な移動手段として鉄道がこれからもお客様に選ばれるため、車両の走行性能を高めるとともに、不快な揺れを抑えることは重要であり、そのための技術開発に取り組んでいます。

そこで今回は、「車両の運動制御と振動抑制」を特集しました。車体や台車の動きを制御することによって性能を向上する技術

のほか、お客様が不快に感じる振動や騒音を抑えるための研究開発成果を紹介しました。

さて次号では、「鉄道構造物の建設技術」を特集します。トンネルや橋、駅といった鉄道の安全・安定輸送を支える構造物を高い品質で維持しながら、施工性をよく、そして低コストで建設するために取り組んでいる研究開発成果について紹介する予定です。(N. W.)